

社員食堂の決済にSuicaを採用。



東芝ソリューション株式会社 様

東芝ソリューション株式会社様は、2012年1月より府中地区にある事業所の食堂2箇所にて、Suica決済とオートレジを導入しました。

きっかけは、それまで使っていたプリペイドカードによる決済方式の見直しです。複数の電子マネー・決済方式を研究し視察も行った結果、最終的に選択したのがSuicaでした。

また、同時に電子マネーチャージ機も導入し、社員の誰もがスムーズに決済できるよう配慮しました。導入後、最初の1週間は担当者がオートレジの側についてフォローを行いましたが、それ以降は大きな問題もなく、社員にも非常に好評のようです。何よりも100%近い利用率が導入の成果を裏付けています。



導入の検討はかなり前から始めました。社員の利便性、導入コストなど、あらゆる面で検討を重ね、最初は他の電子マネーが有利な状況でした。ところが、もうすぐ決定という時期に社員にアンケートをしたところ、「カードの入手方法がわからない」、「カード自体を知らない」との声が多数寄せられ、導入の大きなブレーキになってしまいました。

そこで、浮上してきたのが交通系の電子マネーです。中でもSuicaは、当社の事業所がJRの駅近くに位置することもあり、非常に身近で社員の多くが保有しているカードでした。最終的にはこの「カード入手のハードルの低さ」が決め手となってSuica導入の運びとなりました。

Suica選択の決め手は、 カード取得のしやすさです

府中ソリューションセンター
人事総務部 府中総務勤務担当
部長 鎌田 久氏 (左)
人事総務部 府中総務勤務担当
主任 飯田 修一氏 (右)



さまざまな工夫で 食堂の混雑緩和を実現しました

府中ソリューションセンターでは6台あったレジのうち1台を残し、オートレジを導入しました。食器にはRFIDタグを貼付し自動精算します。人為的なミスによる誤入力も無くなり、また、支払いを後払い方式とすることで精算業務の迅速化を実現しました。昼食時間が始まると同時に混み合っていた食堂がスムーズに利用できるようになり、社員からも喜ばれています。

リースも加盟店契約も 窓口が一本で便利でした

オートレジの初期コストはそれなりに発生しますが、リースを使うことでランニング費用として処理できたことは大きな

メリットでした。月々のリース料はレジの無人化で浮いた人件費や、プリペイドカードを使っていた際のカード発行費用などとの見合いで相殺できると考えています。

今回、導入提案をみずほ東芝リースさんをお願いしたわけですが、加盟店契約とリース契約の窓口を一本化できスムーズな導入が可能になりました。



東芝ソリューション株式会社

株式会社東芝のBtoB・IT事業分野を担うシステムソリューションとサービスの総合提供会社。

今回、電子マネー決済と関連機器のリースを導入したのは府中ソリューションセンターと府中エンジニアリングセンターの2拠点。それぞれ約1,200名と約1,000名の食堂利用があります。

※写真は今回、取材を行った府中ソリューションセンター

※Suicaは東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

みずほ東芝リース株式会社
<https://www.toshiba-lease.co.jp/>